



つく方はぜひご参加ください。ご希望の方は電話にてお申し込みください。

**護持会研修会** 年に2回研修会が開かれます。おもに各お寺の総代様がたにお集まりいただき、布教師の話の聞き、昼食を皆でいただくという会です。

本年、松本市の教区(第3教区といわれています)の護持会研修会は9月7日に全久院で開催されました。本山から派遣された石川光学師より法話をしていただきました。偶然ですが、私が本山修行を始めるに当たり、山門で入門を許可して下さった先輩でした。また第二宗務所(中南信地区の総称)護持会研修会は、9月14日麻績の法善寺にて開催されました。今年の講師は、落語家の露の新治さんで

「新ちゃんのお笑い健康講座 笑顔でくらす。願いに生きる」でした。怒って暮らすより、心を切り替え笑顔で暮らしましょう。それが健康のもとと爆笑する中で、生き方を説いていただきました。



法話をする石川師

### **観音講** 毎月17日の観音様の日、10時に

集まり、観音様の前でお経を唱え、ご詠歌、大黒(寺の奥様の総称)のピアノと先導での唱歌の合唱、昼食(全久院製精進料理)、12時半頃解散、という内容です。また、お楽しみに春と秋の2回近隣に日帰りの小旅行をします。そのため2000円づつ毎月積み立てます。また料理はみな大黒の手作りで、少しづつ腕が上がってるのではと、手前味噌ですが希望を含め評価しています。昨年11月のメニューは、大根、里芋、椎茸、人参の煮物、春菊の胡麻和え、炊き込みご飯でした。現在毎月15人程参加いただいています。60代~90代と大変元気な、そして気さくな方ばかりです。私のほうが元気を貰っています。気楽で、楽しい会です。どなたでも参加できますので、ご希望の方はお寺に連絡してください。



昼食をとる講員の皆さん

### **座禅会** 去年から月1回、土曜日の夕

方始めました。4時集合、本尊様の前で般若心経をお唱えし、座禅解説を住職がして、座禅。その後お粥と大黒の手製の精進を賞味していただきます。6時には解散となりますが、その後任意で、般若湯を酌み交わしながら、座禅の話、人生の話、最近の社会の話などジックリと語



り合います。

昨年の住職の話の一つです。「仏教の基本的な考え方」という題でお話しました。仏教の基本は縁起の法です。縁起とは条件と条件が偶然出合ってものは生まれる、ということです。ですから私たちがどう計算しても人生は計算どおりにはなりません。ものごとには固定的で、確定しているものはありません。そこで私たちは無常観を感じます。諸行無常ということになります。諸行無常というと哀愁が伴い、人生の悲哀を感じる事が強調されます。しかし、実は常に変化しているのだから、私たちにとってものごとには実体がなく、一つのことに固執しない、という生きる上での考え方をつかむことが重要です。

どんなに苦しいことでもそれは固定的ではないし、常に変わってゆくのだから、前を向いて全力で克服する。そんな生き方をすることが仏教的な生き方ということになります。ですから今1秒を大切に、1秒1秒を全力で生き抜くのが仏教の生き方、諸法無我になります。自分だけがよければいい、という生き方でなく、自分は我慢して、我をはずす、他のために全力で今を 生きることが仏教です。基本的な考えは私達の観じ方となり、基本的な考え方となり、生き方となります。

というような話をし、座禅をくんでもらいます。座禅の間にその話を考え、観じていただいています。

本年度の予定は2月19日(土)・3月19日(土)・4月16日(土)・5月21日(土)  
6月18日(土)・7月9日(土) 参加されたい方はぜひ全久院までお問い合わせください。



お粥と精進料理

## ご詠歌

曹洞宗には梅花(ばいか)流ご詠歌があります。観音講でもお唱えしていますが、正



式に先生より習いたいということで、白板、東昌寺の飯島恵道師に来ていただき、お稽古を始めました。作法、道具の扱い、音階、節回しなどを習っています。基本から習ってみると、日ごろなにげなくやっていたことが案外いい加減で、知らなかったことばかりだと再発見の連続でした。また、片手に鈴と鐘をたたくバチを持ち、お唱えしながら交互に鳴らします。両手が一緒に動いてしまったり、お唱えがおろそかになったり、笑うに笑えない稽古です。

またどこかで聞いたことのある節、あの演歌に似ている、など新発見もいくつかありました。今年の稽古の予定日は、毎回午前10時から

1月20日(木)・2月24日(木)・3月24日(木)・4月21日(木)・5月19日(木)  
6月16日(木)・7月21日(木)です

参加希望の方は全久院まで電話ください。参加費用は、先生へのお礼ということで2000円お願いします。

## 三姉妹お茶会にデビュー

全久院の茶道部「即心会」のお茶会は毎年11月3日文化の日



薄茶の点前をする3女

昨年までは次女愛里のみが点前をしていましたが、今回は次女が濃茶、長女苑香（そのか）が野点、三女真依子が薄茶と点前をしました。子供の時から日本の文化を身に染み込ませていることって今の日本人に必要なことだと思います。今のうちに日本文化のすばらしさ、深さをしっかり味わってもらえたらと思います。

そのほか、松本市の茶道6流派で城茶会を松本市に協力して開いています。春の花見茶会、秋の月見茶会、10月体育の日の6流派合同松本城茶会などを開催しています。お時間をとってぜひ来てみてください。住職が真剣な顔をして手前をしているかもしれませんよ。

に開催されます。150人ほどのお客様と40人のお弟子さんが参加します。今年も茶室での濃茶、庫裏での薄茶、表庭での野点と、客室での点心（懐石）にお客様をお招きしました。これだけの茶席を準備できる環境にあることは大変幸せと思います。またそれだけに、日本の文化をしっかりと見につけ、守り、新しい文化に発展させることができたらと思っています。単なる稽古事しないで自分の人格を磨き、根性を付けねばなりません。法事で般若湯をいただき過ぎて、稽古場に行かなくては、っていうのはかなり辛いことです。あんなに飲まなければいいのですが。



野点の点前をする長女

## ボランティア活動

SVA（シャンティー国際ボランティア会・外務省管轄の社団法人）に協力するグループ「おんなじ空ネットワーク」を松本市在住の仲間と運営しています。SVAに協力して、東南アジアに学校を作ったり、現地の言葉に翻訳された絵本を作って贈ったりとさまざまな活動をしています。今年もカンボジアに送る絵本の翻訳が正確に作業されているかをチェックする作業を全久院でおこなっています。2500冊のチェックを1月末まで行います。また絵本作りを松本深志高校、筑摩



松本深志高校での絵本作り

小学校で25冊づつお願いしました。

さらに、昨年は10月8人のカンボジアの中学生を松本に招待しました。彼らはSVAのカンボジア事務所で、カンボジア伝統舞踊を習っています。絵本作りなど松本市で協力していただ



ている方と交流してもらおうようにと招待しました。お互いの考え、文化、伝統、教育など理解しあうことで、より一歩踏み込んだ援助、交流や、相互理解ができると考え、企画しました。麻績村の麻績小学校、源池小学校、松本深志高校で、カンボジア舞踊を披露したり、ゲームをしたり、話し合いをするなど、2日間を過ごしました。

また、新潟中越地震に際し、11月1日～5日まで現地の3つの小学校で豚汁の炊き出し、4000食分を行いました。SVAのネットワークを使い、

現地に情報収集と、連絡担当者をおき、岩手、山形、長野の仲間と共に10日まで炊き出しを続けました。現在はボランティアセンターにSVAの職員を常駐させ、ボランティアの手配を行っています。雪の時期には雪かきボランティアが必要になるようです。

自分ひとりで何かしたく思ってもできることは限られてしまいます。SVAのような組織に協力し、情報や人材の交流をしながら、長く継続する活動を続けたいと思っています。SVAやおんなじ空ネットワークのような組織を育てて、より身近な活動ができるようにして行きたいと思っています。

**りらの会** 年初の挨拶文にも紹介したグループの名称を「りらの会」といいます。

私はお寺が社会的な機能を果たせる組織を持つことができたらいいなと考えていました。また現在の社会に必要なことの一つは、人と人の心を繋ぐ仕事と考えています。ボランティア活動が続けている中で、自分の時間を人の為に役立てたいと考えている方々に会いました。これらの方々と話し合い、「りらの会」を立ち上げようと準備しています。

買い物、送迎、掃除、食事作りなどをする方を派遣します。また、法事を家出したいが手がなくて、という場合、「りらの会」から人を派遣し、掃除、お茶などの接客、食事作り、あとふきの席の設営から方付け、掃除（トイレも含め）をします。現在は隣組が機能しない地域も増えてきています。親戚も少なく、自宅で法事ができない。など話を聞くことが多くなりました。こんな際は是非「りらの会」を使ってみてください。グループ立ち上げ前の実験段階ですので、完成されたお付き合いや、仕事がすぐできるとは言いきれませんが、皆様の力やアドバイスをいただきながら育ててゆきたいと思えます。

また、法事や葬儀を寺や公民館でしたいが、人手がなくてという時も、掃除や接客を行います。申し込みは 全久院か、「りらの会」代表 **鳥居とし子（0263-46-0228・浅間温泉3-16-10）**へ電話をください。仕事の内容はご相談ください。基本的には派遣員に対し時給1000円程度をお支払いいただくことを考えています。

## **全久院よりのお知らせ**

- 1、**屋根瓦換え** を行っています。全久院は明治40年ころ現在の本堂や庫裏が完成しました。だいぶ老朽化してきて、雨漏りがひどくなりました。特に開山堂がひどく、屋根瓦を換える工事を始めました。開山堂の回りの墓地に道具を置いたり、瓦を置いたりしてあります。ご迷惑おかけしますがよろしくお願ひします。また本堂の瓦の傷みも進んでいます、順次瓦換

えを行ってゆきます。

- 2、**開山堂の位牌調査**を行います。開山堂には約200のお位牌がお守りされています。後継者が遠方に住所を移したり、通信不通になったりして、連絡が取れず、ほったらかしになっているお位牌もあります。そこでお位牌の表を作り、**戸主のお名前、旧町名、電話番号**を記入する用紙を開山堂内に置きます。お参りの際3項目の記入をお願いいたします。

## こんなこともやっています

電話しても就職はいつもいない、とお叱りを頂戴しています。少々言い訳をさせてください。寺の活動としての茶道、ボランティアの他に、町会の役と、今一番時間をとられているのがPTAです。私の母校の源池小学校のPTA会長を5年まえに受けました。1年の任期終了後、創立百周年の事務局長になってしまいました。昨年11月6日に記念式典を迎えましたが、その間実行委員会の会議などで100回以上をこなし、準備などで学校へ出向いたのは数えきれませんでした。なんとか記念式典も大過なく済ませることができました。



百周年実行委員と共に



深志高校校長と福井市藤島高校視察

次に、深志高校のPTA会長です。平成14,15年は副会長で、16年会長。本年5月までの任期です。自分としては様々な方とお会いでき、素晴らしい経験となっていますが、時間との秒単位の競争をしてきました。法事が始まるぎりぎりまで書類を作ったり、報告書を書いたり、提案事項をまとめたり。住職は必ず遅れてくると皆様にレッテルを貼られてしまったかと思います。段取りの悪さを、何とか克服しようと頑張ってきましたが、仕事の量のほうがいつも先行してゆきました。ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。本年5月には退任しますので、皆様にはご迷惑おかけすることが減ると思います。

また大黒の京子ですが、皆様にも少しづつ知られてきているかと思いますが、クラシックのソプラノ声楽家の活動をしています。昨年末の松本市第九を歌う会のコンサートではソプラノのソリストを務めました。唱歌を歌う会の指導をしたり、コーラスグループの指導もしています。住職としては全久院の茶道と共に、皆さんで歌を楽しむ文化活動に発展できたらいいかな、と思っています。檀家の皆様に長い目で見ていただき育てていただけたらと思います。

言い訳が長くなりましたが、さまざまな経験がさらに皆様との心の繋がりを深める寺、全久院にする一步と考えています。どうぞ寛容の心でお見守りいただき、本年もご指導のほどよろしく願いいたします。

